

平成 15 年 度

医療機器産業実態調査（卸売業）の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、医療用具卸売業の経営実態を把握し、医療機器産業の健全な発展に必要な施策を講ずるための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査の対象

本調査の対象は、平成16年3月31日現在において薬事法に基づき医療用具の販売業の届け出をし、医療用具を業として販売している者のうち、日本医療機器販売業協会の企業会員である229社を対象とした。

(3) 調査の内容

調査対象者の平成15年度分の連結決算実績（原則、平成15年4月1日から平成16年3月31日までの間に行われた決算）を調査した。

(4) 調査の方法

調査票の記入により回答を求めるとし、調査票の配布・回収は厚生労働省医政局経済課が行った。

2. 用語の解説

(1) 一次卸・一次卸以外の定義

一次卸：全売上高のうち卸売部門の売上高の占める割合が50%以上であり、そのうち、医療用具売上高の占める割合が50%以上で、かつ医療用具の総仕入高の50%以上をメーカーから直接仕入れている者

一次卸以外：上記以外の者

3. その他

- (1) 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入したもので、内訳合計と総計とは、一致しない場合もある。